

2018 年度自己評価報告書

- 評価の方法

教職員に対して、各評価項目を「専修学校における学校評価ガイドライン」に準じて4段階で評価するとともに評価の根拠についても記述するアンケートを実施し、その評価点の平均値を算出して評価項目の評価点とした。また、各領域の評価点は、領域内の各評価項目の評価点の平均値とした。

- 評価点

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	評価点	
1.学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.0	3.63
2.学校の特色として挙げられるものはあるか	4.0	
3.学校の将来構想は策定されているか	3.25	
4.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、教職員、生徒及び保護者に伝わっているか	3.25	

【課題】

学校の理念・目的・育成人材像は定められており、HP や学校案内で発信しているが、教職員、学生、保護者、受験生にわかりやすく伝えることができているとは言えないことが課題である

【今後の改善方策】

これまで数年かけて話し合いを進めてきた「アルウィン学園 保育者養成システム」を発信できるよう検討し、今後3つのポリシーとしてまとめ、記載していく（アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー）。またオープンキャンパスや学校行事（入学、卒業のつどい）、保護者会（懇談会）等様々な機会を捉えてわかりやすく伝えていく

2.学校運営

評価項目	評価点	
1.目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.5	3.05
2.学校は事業計画に沿って運営されているか	3.25	
3.教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.0	
4.教務の意思決定システムは整備されているか	3.0	
5.情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.5	

【課題】

教務分掌・事務分掌の整理が不十分であり、特定の教職員に仕事が集中してしまう現実がある。また HP、パンフレット他で教育活動について情報公開がなされているが、シラバス、授業評価の公開は実施されていない

【今後の改善方策】

教務分掌・事務分掌を整理し、年度の事業計画に沿った運営を心掛ける

3.教育活動

評価項目	評価点	
1.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4.0	3.58
2.教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学時間の確保は明確にされているか	3.75	
3.学科等のカリキュラムは目標達成に向け、体系的に編成されているか	4.0	
4.キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが実施されているか	4.0	
5.授業をより良く改善するための授業評価を実施しているか	2.0	
6.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.75	
7.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4.0	
8.職員の資質向上・指導力向上のための研修等が行われているか	3.25	
9.生徒一人一人の学習状況を把握し、適切な指導が行われているか	3.5	

【課題】

学生と教員の距離が近く、学生の声を聞き、授業内容に関する事項等をすぐに改善したり、学生の学習の理解度を把握できる仕組みはあるが、それを数値化していないため客観的、効率的な改善には繋がっていないと思われる

【今後の改善方策】

業者等に依頼し、各科目の授業評価を行う。その際、学生が自身の学習への取り組みも含め客観的に授業を評価できるものを実施していくこと、担当教員には授業評価についての意図を伝え授業の改善に活かしていけるようにする

4.教育成果

評価項目	評価点	
1.就職率の向上が図られているか	3.0	3.63
2.資格取得率の向上が図られているか	4.0	
3.退学率の低減が図られているか	3.75	
4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.75	

【課題】

1 人ひとりに応じた支援・指導が行われているが、今後も継続していけるよう検討が必要と思われる。また卒業生の就職後の動向の把握が必要である

【今後の改善方策】

主な就職先が実習園、関係園が多いことから今後も引き続き連携を図っていくことや卒業生への就職先へのアンケート調査も行っていく

5.学生支援

評価項目	評価点	
1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	3.57
2.学生相談に関する体制は整備されているか	3.25	
3.定期的に健康診断を行うなど、学生への健康面への支援体制はあるか	4.0	
4.課外活動に対する支援体制は整備されているか	4.0	
5.納付金の分割納入等が学生の経済的側面に対する支援体制が整備されているか	3.75	
6.保護者と適切に連携しているか	4.0	
7.同窓会が組織され、活発に活動しているか	2.0	

【課題】

学生が、専任教員や非常勤の先生方に気軽に相談できる雰囲気や環境はあるが、教員同士の情報交換が必要な場合もある。また保護者との連携も課題である。同窓会は卒業生数名で運営されていることから、活性化が課題である

【今後の改善方策】

保護者会の開催を行うことで学生支援につなげていく。同窓会については、卒業生有志のみの活動では卒業生の動向等の把握に限界がある。学園と協同して運営することで活性化していくと考えられる

6.教育環境

評価項目	評価点	
1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.0	3.43
2.万一、災害が起きた場合に備えた保険などの措置はあるか	3.3	
3.防災に対する体制は整備されているか	4.0	

【課題】

現在も学生の立場から使用しやすい施設・環境であるか検討しているが、今後も引き続き検討が必要と思われる

【今後の改善方策】

まずは、学生が食事したり談笑したりできるスペースの工夫が必要であると考えている

7.学生の受け入れ募集

評価項目	評価点	
1.高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.3	3.83
2.学生募集活動は、適正に行われているか	4.0	
3.学生募集活動において、資格取得・就職状況等の教育成果に関する情報は正確に伝えられているか	4.0	
4.学生納付金は、教育内容、学生及び保護者の負担などを勘案し、妥当なものとなっているか	4.0	

【課題】

現在は都内を中心に行っている高校訪問等を受験者が増加している地方にも目を向けていく必要がある

【今後の改善方策】

都内ばかりではなく地方の高校の訪問やアプローチの方法を検討、実施していく

8.財務

評価項目	評価点	
1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	—	—
2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	—	
3.財務について会計監査が適正に行われているか	—	
4.財務情報公開の形式は整備はできているか	—	

【課題】

【今後の改善方策】

※財務に関しては、学園全体で評価のため、省略

9.法令等の遵守

評価項目	評価点	
1.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.0	3.40
2.個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.0	
3.学校評価の実施と問題点の改善を行っているか	2.6	
4.教育情報を公開しているか	3.0	

【課題】

学校評価と情報公開の実施。

【今後の課題】

2018年度分より、学校評価の情報を公開していく。

10.社会貢献・地域貢献

評価項目	評価点	
1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.6	3.63
2.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4.0	
3.地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3.3	

【課題】

現在は、地域の児童館でのボランティア、杉並区と東京都社会福祉協議会の保育士人材確保事業を受託しているが、授業や行事、学生の個別指導等により受託事業を増やせない現実がある

【今後の課題】

教務・事務分掌を整備し、キャリアパス事業やリカレント教育等の受託を積極的に行っていくようにする